

# 保育おおさか

平成18年11月1日 第375号

大阪府社会福祉協議会・保育部会  
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

## SIDSは虐待の隠れみのか 子どもの安全を守るために

子どもの安全を脅かす、虐待・事故・感染症などは、今日において、どの児童にも起こりうるものとなっております。今回、事例をもとに、虐待問題の現状や保育園、保育士の果すべき役割、今後の園の取り組みとは何かを、大阪府監察医の河野先生から「法医学的視点」で、ご講義いただきました。

今年で11年目を迎えたこの研修の原点は、「SIDSとは何か」海外のいろいろな資料を集めて作ったSIDSの定義には、基本的に病死を前提とする所があり、そのことが、「SIDSは虐待の隠れみのか」に使われているのではないかと、という問題点になっていく。今回は「虐待」に主点を置いたお話を聞かせていただきました。新聞やニュースで知り得る虐待の情報は、ほんの氷山の一角に過ぎず、水面下で行なわれていることの方が圧倒的に多いようです。子どもと触れ合い、語り合うことのできる保育士は、水面下に隠れてしまっている虐待に、気づきやすい存在であり、保育の専門家としてどういう視点を持



医学博士 河野 朗久氏

殴られた真実を語っています。凶器になるのは、道具ばかりでなく、子どもを守るべきはずの大人の体や心が凶器と化することも多いのです。

診断された乳児の事例を紹介します。「寝ている赤ちゃんを起こすのは可哀想」と、乳児を置いたまま、約4時間後寄り道も経て、家へ戻ると、乳児は死んでいたそうです。乳児の突然死は一例も目撃者がなく、全件、一人で亡くなっています。誰にも相手にされないこ

つべきなのかを問われています。スライドを通した事例では傷ついた子どもの姿が次々と映し出されました。同じ形で色の違う痣が多数ある体は、同じ凶器で、何日もかけて

とが續くと息が止まってしまうのでは：という見解に胸が詰まりました。乳児に対する、何気ない大人の刺激が、乳児にとっては、必要不可欠なもので、私たち保育士は、その刺激を常に与えられる存在でなければならぬことを痛感しました。

「どうしてそうなのか」という疑問を持ち、自分の中の常識ではなく、目の前の事実について考える『客観的な観察』のできる力を身につけることが今、私たちに求められている一番大事なことではないでしょうか。「ひよつとしたら：」と考えられる私たちの知識が、子どもたちの命を救うことも忘れてはいけないことだと思います。最後に映された一枚のスライド。そこには、戦争被害にあった子どもの姿がありました。『子どもの安全を守るため』私たちにできること、すべきことは今、目の前に、山積みになっています。(大野台保育園 R・E)



先日、我が家に隣接する中学校で、体育祭が行われていました。

日頃すれ違う学生たちの姿からは想像出来ないほど、一生懸命に走る姿や真剣に取り組んでいる集団演技など、とってもすばらしく、しばらく見入ってしまうほどでした。それより何より驚いたのが、保護者の多さでした。土曜日ということもあつたのか、用意されたテントの中は、まるで満員電車のようにでした。自分たちの時代は親が見に来るのが恥ずかしかった記憶があるのですが、：。気になるので、中学生を持つ職員に聞いてみたところ、土曜日に限らず、平日でも同じだそうで、最近では普通の光景だとか。時代は変化していると感じました。子どもが親離れしないのか、親が子離れしないのか？そういう私も、娘が7年後テントの中から応援しているのでしょうか。(T・T)

実りの秋を迎え、日々の活動を通し、多くの体験から自然に興味を持ち、伸び伸びと園生活を送っています。賑やかに響く声に、喜びいっぱい感じられる保育展開が望まれるところです。

## 一度 福祉的視点から 保育を考える



大阪府保育協議会 武内茂子副部長

### 生きる力・生きる喜び

今秋から、本格実施になる「認定こども園」の課題を見つめるに当たり、既に保育所が懸命に取り組み努力をしている。地域に開かれた施設」としての役割は、既成の事実として存在しています。それに加えて、幼稚園機能の充実などが上げられています。措置制度から利用施設として変革した後、平成11年に保育所保育指針の改訂が行なわれ、以来特に強調されてきた幼児教育の点を、今一度私たち保育関係者がしっかりと捉えて、世に示せる提言をしなければならぬと思っています。

最近の地域社会では、子どもたちが、家庭外で伸び伸びと過ごすことの出来ない様子があります。親が目を放せない状況になると、個室的育児となり、近隣の交流もままならず孤立化した育児環境になることが課題となっています。

## 保育士の知的センス 社会性が大きな力

保育所の役割として、多くの課題にいかに対応できるかがあげられる中、それぞれが自己発揮しながら努力して、福祉的視点としての役割を全うしてきました。今、改めて取り上げるまでもなく、0歳児から就学前の乳幼

児期に携わる保育所保育は、一貫した幼児教育の一端を担う役割を持つていて当然のことと思いい、保育所保育指針をふまえた展開がなされているところです。幼児教育は幼稚園教育要領との整合性を積極的に図ることが望まれ、定められた保育所保育指針に示されている「生きる力を育む」をとらえて、展開されています。

保育所と幼稚園は制度上の違いはあっても、共に幼児期の教育について責任を持たねばならないと考え、その整合性を図るため、改訂、周知されるべく研修会が開催されていました。幼稚園教育要領は「生きる力の基礎を育成する」ことが明記され、保育所保育指針では「生きる喜びと困難な状況への対処する力を育てることを基本とし」とあり、相互の共通性が示されています。子どもたちは、まわりの大人から愛され、信頼されることを感じ取り、人を愛し、信じることでできる心が育つようになります。

日々の遊びが重要であり、教育的視点としての成長につながることは周知のことです。言語表現、運動能力の助長、思考力を高める視点など、次につなげる発展的展開を考えて、期待を膨らませていくことが必要です。「遊び」は全て多くの要素を包括していますが、多くの場面で意図的提示が重要です。環境を通しての保育を考える時、提供者である保育士の知的センス、社会性などが大きな力となります。大切な変革期の今、保育界が互いに力を発揮し、世に真価を問う活動展開が必要であると感じています。

子どもたちの笑顔とエネルギーを支えられている幸せを喜びに、あらゆる機会を自己研鑽としてとらえ、保育所こそ幼児教育として重要な機関であることを示したいものです。共に原点に立ち返って考える時、次の項目を保育士自ら得ていたきたいものです。

日々の保育の中、保育士に求められることは、生き生きとした子どもの好奇心あふれる姿を大切に育てることを受け止めた保育展開を願うところですが、就学前を見据えて育成すべき点を考えてみたいと思います。

- ①自立した生活の力を育てる一発達に合った支援や評価。ともに出来たことを喜ぶ。
- ②生きる力の基礎—心情・意欲・態度。多くの経験や体験で心がゆずぶられること。好奇心→やりたいという意欲になり、自発的活動、行動ができる。
- ③たくましく生きる一健康な心、体力の育成。管理された安全だけでなく自らの注意力を発揮して、対応できる能力を身につけること。
- ④社会性の基礎を養い、道徳性の芽を育てる。一人との関わり、友達とぶつかり合い、仲直りしながら他とのトラブルを克服する力を持つ。ルールを理解すること。
- ⑤豊かな人間性を育てる。一他への思いやりの心、仲間を支えること、他への愛情により、お互いの信頼感を育てること。全ての人間関係の基本として、他を許すことができ、自分本位であることが多い今の子どもを育ちを考え直すことが大切です。



「北大阪ブロック」 交野市

きわめて類似性が認められるという指摘があり、年長児と低年児での保育(教育)にあまり段差はよくないと考え

表情で学ぶ 喜びのある学習

教科の飛躍を期待したい。小学校時に、先生方に見ていただいた運動場で行なった生活科「風でうごくおもちゃ」の学習風景の「こまをお伝えしたい。目標は、長方形の紙木

2、「わかった!」—探究と発見の喜びを大切に  
運動場の石ころにつまづいて倒れた子どもの羽根が、曲がってねじれている。それを見つけた私

4、「わあ!すごいなあ」—驚きと感動を大切に  
「先生、走らなくても立っているだけで、こん

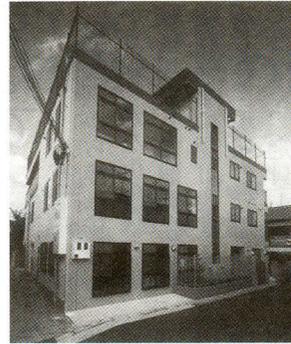
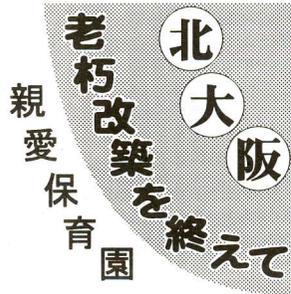
驚きに感動できる笑顔・勇気・元気いっぱい保育士でありたい。(R・K)

交野市では、20数年前から、保幼小交流会を毎年続けてきた。ピアジェの研究では、4〜7歳児の脳とこころの発達状況に

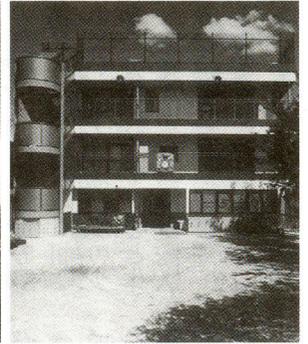
1、「おや!」—意外さを大切に  
羽根にねじれない風車をみて、子どもたちは、「持つて走ったら回るよ」

3、「もっとやりたい!」—学習の熱中を大切に  
「やっと回ったね」という苦心と喜びのあと、いろいろと羽根のねじれを作りかえながら、生き生きとした表情で運動場を駆けめぐる。

5、「ああ、よかった!」—学習の満足感を大切に  
運動場いっぱい走り回る風車に、子どもの顔はほころぶ。風車に遊んでもらう子どもでなく、風車で遊ぶ子どもを育てることこそ学ぶ喜びのある学習といえるのではないだろうか。



可愛い園舎



たのしいグラウンド

園舎老朽化による建替え、待機児童解消を図るため60人から90人と定員を増員し、9月1日から新園舎生活となりました。敷地は狭く、仮園舎を建てるスペースもなく困っておりましたところ、寝屋川市浄水場敷地内の一部をお借りすることになり、仮園舎が完成し、2月から保育開始

となりました。保育室も旧園舎より広く給食室も完備でき、従来通り給食を提供することができました。また、園庭が狭いことも近隣の公園を借りることで解消しました。平成17年度の卒園式は仮園舎で行なうことになりましたが、子どもたちと保護者の協力で思い出に残る卒園式になりました。

子どもたちが快適に過ごせるように配慮していただきました。3階建てになったことで園庭に大型遊具も設置し、プールは屋上で使用することになりました。また、子どもたちの安全を重視し、防犯カメラ、オートロックを設置しセキュリティを強化しました。  
仮園舎・新園舎建設中は地域の方々のご協力には大変感謝しております。新園舎に移り、新たな気持ちで職員一同、より

—お知らせ—

保育士登録はお済みですか

H18年11月28日までに保育士登録が済んでいない場合には、保育園などにおいて「保育士」として業務を行うことができなくなります。登録がまだの方はお早めにご登録下さい。

よい保育を目指し頑張りたいと思います。



おいしく出来るかなー

# 保育園をたずねて

344

大阪市

旭ヶ丘学園 北野分園

大阪駅から徒歩10分という賑やかな街中にあり、戦後焼失した龍興寺跡に昭和28年に認可設立されました。現在の分園方式ではなく、定員150人の当園は、待機児童の解消にも積極的に取り組まれています。遊び場の少ない大都会の中、心と体を充実させること、喜びある経験を多く取り入れること。また、吹田市にある本園との交流や自然

に親しむ機会を大切にしているとのことでした。訪問した日は、和菓子づくりを体験する機会が持たれていました。職人さんの手ほどきを受けながら、食紅で色付けした食材から、银杏の型ぬきで葉を作り見事な工芸菓子が出来ました。秋の彩りが映し出された出来ばえに園児たちの輝く瞳がありました。



## 応援合戦で心を一つに

南大阪ブロック



元気一杯 ガンバルゾー

# ブロックだよ

南大阪ブロックでは現在、11月19日の施設従事者体育祭に向けて、応援合戦の練習中です。応援合戦に出るに当たり、南大阪ブロックの各保育園の先生方には多くのご協力をいただき、感謝しております。

応援合戦のダンスは、まだ残暑厳しい中から練習を始めました。最初はごちない部分もありましたが徐々にまとまりが出て、形になってきました。日頃、保育の中で、音楽やダンスに接する機会が多い分、自然とリズム

ムや振り付けが身に付いたように思います。各園とも、行事や、日々の忙しい保育の合間をぬっての練習となつています。全体で練習できる回数はいませんが、参加している職員の皆さんには優勝を目指し、練習に頑張ってもらいたいものです。

また、この機会を利用して、普段、あまり接することのない他園の職員と交流を持つことにより、色々な保育の仕方を吸収し、日々の保育を充実してもらいたく思います。

本番まで日は限られています。心一つにし、精一杯、頑張りたいと思います。(松の木保育園 S・M)

## 北摂ブロック 「維新の街を訪ねて」

### ハロー竜馬さん

園長・幹部職員研修旅行が平成18年10月22日、10月23日まで高知県で行われた。

「幕末・維新の街を訪ねて」をテーマに、まず桂浜にある土佐闘犬セン

堺市民間保育園連盟が、11月18日に開催する創立50周年式典の担当をされているのが、池尾弘久副会長兼50周年式典委員

ではロータリアンとして奉仕活動に時間を捧げ、堺で700年の伝統を持つ堺大魚夜市で真夏の一日を過ごし、秋には地元のだんじり祭りで汗を流しておられます。



保育園に勤務する前は現場監督という経歴を持ち、現在は保育園園長として地域福祉に努めておられます。超多忙にも関わらず、プライベート

当日会場で走り回っている池尾弘久副会長のパワーに触れてみたい方はぜひ市民連の50周年式典にお越し下さい。

ターを見学した。闘犬は、ずっと土佐犬だと考えていたが実際は、ブルドックと土佐犬との交配種だということを知った。

学んだ。夫妻愛や妻としての千代の賢明さを知り、生き残ることが難しい時代にあつて、家の繁栄へと導く目を持っていた、夫妻の生きる力を痛感した。(玉川橋保育園 M・K)

### お詫び(9月号)

373号2面上2列左行、保護者↓保育者に訂正しお詫び申し上げます。

発行所 大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪府社会福祉協議会 保育部 TEL (06) 6762-9001 発行人 永水 男 勝